

JR谷川駅

駅前のひとけの無さが気になる。

まち=にぎやか

→屋台を出せるようにして賑わいを。 ひとけのある空間づくり



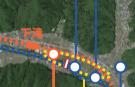
川に近い場所=絶え間なく変化する水の音

レジャースポットとしても利用。

まわりに何もない=自分の音



- ぼーっと物思いにふけてみる。
- ・ 散歩に最適



静か=ゆっくり休憩ゾーン

川の流れが穏やか=せせらぎ、穏やかな音。

・自転車、ウォーキングともに気持ちいい

→休憩スポット増設

静か=鳥の声、木々の音



・ベンチや休憩所がほしい場所

川の音がうるさい=休みづらい

・あずま屋が休みづらい場所にある。 →落ち着いた雰囲気の場所に休憩スポットを 電車と並走できる=電車の音

静か = のんびりお散歩エリア



- ・電車好きにおすすめ
- ・電車と競争する遊びを企画



渓谷・電車の音エリア



- ・電車と渓谷の音両方を楽しめる
- ・ベンチや休憩所がほしい場所
- ・あまり車が走らない場所がベター

神社の静けさ



- 休憩スポット
- ・神聖な空気の静けさ

川代ラインパークを音の視点から探る

サウンドスケープ 資料

- ●変化に富んだ河川形状と空間
- ●音の場所性を読み解き スポット・エリア整備提案

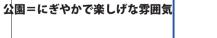


川代全体の音 ・農作業の音 ・電車の音 ・山の音 ・川の音

・風の音 ・鳥の声



- J R丹波大山駅
- ・犬やねこの声



オフロード=砂利の音、草の音



- ・自転車は走りにくいが、
- 景観環境としてはオフロードも必要